

令和元年度 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部・財務部
基本施策	2	社会資本の安定的な供給		
単位施策名称	1	公共施設の計画的な維持・保全		
	施策の方向性	●道路や公共施設の計画的な維持・保全、延命化を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	橋梁長寿命化修繕実施済み橋数	橋	目標値		3	5	7	9	10
			実績値	1	2	3	4	10	
			達成状況		未達成	未達成	未達成	達成	
2	予防型改修の施設数（築15年未満の施設を対象）	施設	目標値		1	2	5	7	7
			実績値	-	0	1	2	3	
			達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成	
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析	
（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 橋梁長寿命化修繕は、令和元年度は国の交付金の内示率が高く、計画どおりに事業の進捗が図れました。予防型改修については、建物の状況や経費の面から、対象の4施設について実施を見送っています。	
・評価及び対応方針	
道路や公共施設の計画的な維持・保全、延命化を図るため、交付金の確実な配分を求めて国や県に働きかけを行うとともに、限られた財源の中でも事業の確実な進捗を図り、目標達成を目指します。予防型改修については、築15年を超える建築物を中心に雨漏り等の不具合が多数確認される状況で、約47%が何らかの事後保全積み残し状態にある現状を踏まえると、まずはこの解消が必要とも考えられ、今後検討を要します。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	橋りょう長寿命化事業	45, 412
		2	道路補修等事業	84, 761
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	土木総務一般事務事業	2, 681
		2	道路管理事業	15, 416
		3	水路改良等事業	11, 338
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				159, 608

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	橋りょう長寿命化事業	事業番号	421101
担当部署名	建設部	維持管理課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1 公共施設の計画的な維持・保全		

2. 事業概要

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの定期点検（19橋）、補修設計（4橋）、改修工事（1橋）を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 「広島県定期点検要領」に基づき、5年に1回行うことを基本に定期点検を行います。 ・定期点検 19橋 ○ 「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、健全度の低い橋りょうから、順次補修するための詳細設計を行います。 ・設計橋数 4橋 ○ 詳細設計をもとに、橋りょうを長寿命化するための工事を行います。 ・工事橋数 1橋	○ 広島県定期点検要領に基づき、定期点検を行いました。 ・令和元年度定期点検 19橋 ○ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋りょうから補修詳細設計を行いました。 ・令和元年度設計橋数 4橋 ○ 詳細設計をもとに、橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・令和元年度工事橋数 7橋

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	修繕実施橋梁数（累計）	橋	目標値	3	5	7	9	10
			実績値	2	3	4	10	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	達成	
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		橋りょうの補修・改修が目的のため、実施橋梁数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	40,196	21,987	0	16,000	0	2,209
決算	45,412	24,612	0	19,941	642	217

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

本事業は、国の交付金を活用して進めています。令和元年度は交付金の内示率が高く、改修工事を計画していた2橋（前年度繰越し含む）から、早期に改修が必要な5橋を追加して、合計7橋を改修しました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

交付金の確実な配分について、国と広島県に働きかけ、改修が必要な道路橋りょうの工事完成を目指します。また、定期的に道路橋りょうの点検を行い、健全な管理を進めていきます。

作成担当課長	維持管理課長 屋敷 学
--------	-------------

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

令和元年度は国の交付金の内示率が高く、計画どおりに事業の進捗が図れました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき適正な修繕を行い、橋りょうの長寿命化を推進する必要があることから、国あるいは県に対して、交付金の確実な配分を求めて働きかけを行い、引き続き目標達成に向けて事業を継続することとします。

作成担当部長	建設部長 井上 貴文
--------	------------

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	道路補修等事業	事業番号	421102
担当部署名	建設部	維持管理課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1 公共施設の計画的な維持・保全		

2. 事業概要

道路を良好な状態に保ち、安全な生活環境を確保するため、道路等公共施設の修繕、維持補修等を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 府中町道路舗装修繕計画書に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、順次舗装の補修を行います。 ・大須上岡田線 L=80m ・入川府中大橋線 L=100m ・八幡川線 L=120m ・鶴江鹿籠線 L=210m ・青崎東住宅線 L=165m ○ 老朽化している水路の床版を改良します。 ・施工延長 50m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行います。なお、県道に係る一定の維持管理については、県の交付金により行います。	○ 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から舗装の補修を行いました。 ・令和元年度補修延長 L=653.9m ○ 老朽化している水路の床版を改良しました。 ・令和元年度施工延長 L=24.6m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修 116件 ・県道の維持補修 21件 ※県道に係る維持管理については、広島県からの交付金により実施しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	修繕実施道路延長（累計）	m	目標値	1,490	2,790	4,140	5,090	6,000
			実績値	1,109	1,910	2,489	3,143	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		事業の進捗状況を把握するため、修繕実施道路延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	85,758	0	18,767	22,500	0	44,491
決算	84,761	0	15,745	24,004	4,644	40,368

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

交通量が多く、昼間の施工では渋滞による影響がある箇所は、夜間施工により対応したほか、既存の舗装が想定していたよりも厚く、舗装の破碎・処分量が増加したため、施工費が上がり、計画していた修繕延長までの実施に至りませんでした。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

車両の通行が多い街路については、舗装の長寿命化、周辺住民の生活への影響も考慮しながら、施工方法等を選定し、適正な舗装修繕を計画的に実施していきます。

作成担当課長

維持管理課長 屋敷 学

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

交通量の多い路線で、交通渋滞の可能性が懸念される路線を夜間施工としたことや、既存の舗装厚が想定より厚く、破碎・処分量が増加したことから、施工費が上がり修繕延長が伸びず、目標未達成となりました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

道路舗装修繕計画に基づき適正な舗装修繕を行うことが必要であることから、引き続き目標達成に向けて事業を継続することとします。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文